



2021年12月22日

各 位

会 社 名 HOYA株式会社
代表者名 代表執行役CEO 鈴木 洋
(コード番号 7741 東証第一部)
問 合 せ 先 コーポレート企画室
I R 担 当 TEL03-6911-4825
広 報 担 当 TEL03-6911-4824

代表執行役の異動に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて2022年3月1日付で代表執行役を異動することについて決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 退任代表執行役 最高経営責任者(CEO)の氏名および役職名

氏名	新役職名	現役職名
鈴木 洋 (すずき ひろし)	取締役	取締役 兼 代表執行役 最高経営責任者(CEO)

2. 新任代表執行役 最高経営責任者(CEO)の氏名および役職名

氏名	新役職名	現役職名
池田 英一郎 (いけだ えいいちろう)	代表執行役 最高経営責任者(CEO)	執行役 技術担当(CTO)

3. 異動の理由

代表執行役 CEO 鈴木 洋より、2022年3月1日をもって代表執行役 CEO を退任したいとの申し出があり、当社指名委員会にてこれを受理いたしました。

後任人事について指名委員会にて検討を重ねた結果、現執行役 技術担当(CTO)の池田 英一郎を代表執行役最高経営責任者候補として選定し、本日の取締役会にて2022年3月1日付で代表執行役の交代を決定したものです。



4. 新任代表執行役 CEO の略歴

氏名 (生年月日)	略歴	所有 株式数
池田 英一郎 (1970年3月17日)	1992年4月 当社入社	1,400株
	2010年1月 当社 MD 事業部メディア SBU ゼネラル・マネジャー	
	2010年2月 当社 MD 事業部共同事業部長 兼メディア SBU ゼネラル・マネジャー	
	2010年9月 当社オプティクス事業部 光学レンズ SBU 長	
	2013年6月 当社執行役 情報・通信担当 COO	
	2015年6月 当社執行役 情報・通信担当 COO 兼技術担当(CTO)	
	2018年3月 当社執行役情報・通信担当 COO 兼技術担当(CTO) 兼アイケアカンパニープレジデント	
2020年3月 当社執行役 技術担当(CTO) (現任)		

5. 今後の予定

鈴木 洋は、代表執行役 CEO を辞任いたしますが、2022年6月下旬に開催予定の第84期定時株主総会までは、引き続き取締役会議長を務め、定時株主総会終了をもって、任期満了により取締役を退任いたします。

池田 英一郎は、本日の取締役会の決議により 2022年3月1日より代表執行役 CEO に就任いたします。また、2022年6月下旬に開催予定の第84期定時株主総会にて取締役候補者として上程し、株主の皆様の承認を諮る予定です。

以上

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

ボックスグローバル・ジャパン株式会社

担当：越田・杉山・人見

TEL: 080-2208-9698/080-2042-2852/070-3624-3081

本書は一般に公表するための開示文書であり、米国を含め日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。



【別添資料】指名委員長 / 退任予定の CEO / 新任予定の CEO のコメント

■浦野 光人

筆頭独立社外取締役、指名委員会委員長

「1年ほど前、鈴木 CEO よりそろそろ退任を考えたいとの申し出がありました。好業績のなかでの退任の意向ということで聞いたときは意外に思いましたが、長年 CEO を務め、家族との時間を取りたいという理由も理解できるものでありました。指名委員会としては、これまでのサクセッションに関する討議に基づき、指名委員会の最重要課題である後継者計画の具体的な候補者選考プロセスに直ちに着手いたしました。20年以上グループを率いてきた鈴木氏の後任候補ということで、HOYA の高い収益力を維持しつつ、今後のさらなる成長に向けてグループを牽引することができる経営チームのリーダーとして必要な資質や能力について、新たに外部専門家も交えて討議し、社内外の候補者について検討を重ねてまいりました。その結果、これまでの HOYA の好業績を経営チームの一員として支え、また今後の成長の源となる技術開発に明るい池田氏を後任の代表執行役最高経営責任者候補として指名委員全員一致で決定しました。新 CEO には、HOYA の一層の成長に向けてリーダーシップを発揮していただくことを大いに期待をするとともに、取締役会並びに 3 委員会において、今後もしっかりと経営のモニタリングを実施し、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。」

■鈴木 洋

代表執行役 最高経営責任者(CEO)

「60 歳、そして CEO 歴 20 年の節目を超え、これまで以上に会社や自分自身について考えることが増えました。2000 年に CEO に就任して以来、常に会社のことに専念してきましたが、家族とゆっくりとした時間を過ごしたいという気持ちが大きくなっていました。そのような中、新型コロナウイルスへの対応が急務となり、しばらくその対応に追われましたが、ひと区切りが付いた頃には退任したい旨、指名委員会に打診をしました。HOYA のガバナンス体制に基づき、後継者の選出は指名委員会にて進めていただきました。池田さんは優れた技術者であるとともに、人一倍数字に対して厳しい経営者です。持ち前のバランス感覚と対応力を活かし、情報・通信/ライフケア問わず多くの実績を残してきました。

私は事業ポートフォリオの収益性を向上させることに注力してきましたが、池田さんにはこの先 10 年 20 年の成長を支える新しい事業を見出すという私からのバトンを受け取っていただきたいと思います。池田さんが先導する新しい HOYA に期待しています。」

■池田 英一郎

執行役 技術担当(CTO)

「2022 年 3 月 1 日より CEO という大役を指名委員会より仰せつかります。HOYA の経営執行体制と事業ポートフォリオを 20 年以上にも渡って磨き上げ、より堅牢なものにしてきた鈴木 CEO のご功績に敬意を表しますとともに、感謝を申し上げます。これをしっかりと引き継ぎ、これまで同様に HOYA の CEO として最も重要な職務である事業ポートフォリオ・マネジメントに注力してまいります。これまでは”キャッシュカウの情報・通信、成長領域のライフケア”という位置づ



けでしたが、この10年ほどでライフケアを一定の規模まで拡大させることができました。今後はセグメントを問わず、事業ごとの位置づけを検討し、成長性の高い事業に経営資源を投下してまいります。また、当社の長期的経営課題でもある新たな成長事業を事業ポートフォリオに加え、新規事業の買収や技術開発への取り組みを加速していく所存です。一方で、収益性重視の考え方に基づいて、数字で物事を判断するという物差しを引き継いでまいります。また、ESG/サステナビリティについては、これまでのG (Governance) 強化への取り組みに加え、E (Environment) 及びS (Social) にも、中長期的な目線で当社の価値向上に資する取り組みを積極的に模索し実施してまいります。

最後になりますが、「会社は人なり」の考えのもと、多様な社員がそれぞれ能力を最大限発揮し、新しいことにチャレンジしていけるHOYAカルチャーを大切に、社員一人ひとりが働きがいを感じながら会社とともに成長できるよう環境を整えてまいります。」